

うわじま うしおに 牛鬼

Jan. 2024
No.48

4年ぶりの「健康フェスティバル」開催！！



昨年10月29日に、4年ぶりとなる「健康フェスティバル2023」を開催いたしました。

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、生活が徐々に戻りつつある中、会場は人々の笑顔と活気に溢れました。健康をテーマにした展示や体験コーナーなど様々なプログラムが催され、参加者たちは楽しみながら健康への意識を高めました。

未来の医療人育成コーナーでは、高校生らが手術支援ロボットの操作体験を行うなど、実際の医療現場を体感しながら学んだほか、ダンスや子ども向けコーナーなど地域の病院として親しんでもらえるイベントとなりました。



発行／市立宇和島病院広報委員会
〒798-8510 愛媛県宇和島市御殿町1番1号

TEL 0895-25-1111 FAX 0895-25-5334
<https://www.uwajima-mh.jp/>



令和6年 新年のごあいさつ

宇和島市病院事業管理者 梶原 伸介



皆様明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症としての扱いとなり、日常生活は大分以前のように戻ってきましたが、当院でも時々クラスターが発生するなど未だ燻っており、まだまだ安心が出来ません。インフルエンザも流行するなど、皆さん大変な思いで生活されておられると思います。

当院でもコロナの影響だけではありませんが、様々な環境の変化が現れ、病棟体制の変更などを余儀なくされております。しかし、当院は南予の基幹病院であり、唯一の総合病院として、この地域のすべての人の健康・命を守る使命があります。利用されている皆様が安心して毎日を過ごせるように、当院を充実、発展させていくのが我々の使命だと考えております。当院のスタッフにも、我々が地域の人々の健康・命を守っていくのだということを自覚し、プライドを持って日々の診療に当たってもらいたいと思います。

今後も南予地域の基幹病院としての役割を果たすよう努めてまいりますので、皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

市立宇和島病院院長 善家 喜一郎



明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が5類移行後、感染状況はある程度落ち着き、通常の社会に戻つつあります。しかし、病棟においては、未だクラスターの発生が散発するなど、今後も注意が必要です。

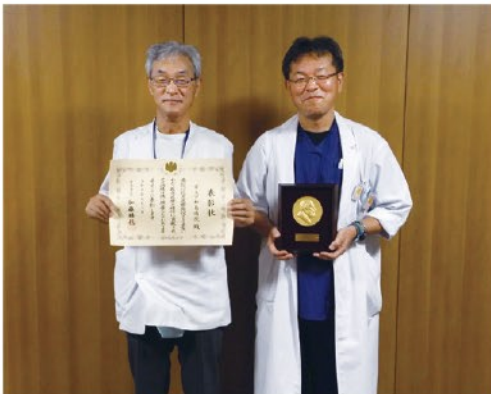
労働生産人口の減少により、全国的に働き手不足の問題が顕著化してきています。当圏域でも大きな問題となっており、働き手の確保に努めることは当然ですが、業務の効率化およびタスクシフトを進めていかなければなりません。各部署には、できることから積極的な取り組みと建設的な意見の発信をお願いしています。また、働きやすい環境を整えることも重要です。現在、本館の隣接地にエネルギー棟を建設中であり、完成後はハード面での改善が期待されます。ソフト面では、多職種が入り組んで働いている環境であり、職種間および個人間の風通しがよく、気持ちよく働ける環境を目指しています。

これからも、当圏域の基幹病院としての役割をしっかりと果たしていく所存です。引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。



救急医療功労者厚生労働大臣表彰受賞について

呼吸器外科科長 兼 南予救命救急センター長 根津 賢司



善家院長(左)、根津医師(右)

この度、当院が栄誉ある令和5年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞させていただき、大変光栄に思っておりますとともに、コロナ禍や昨今の各地の大規模災害や戦争など暗いニュースが多い中、本当に喜ばしいニュースと感じております。

この受賞は、これまで当院で救急医療に携わってきた全てのスタッフ(医師、看護師、技術職員、事務職員など)の長年にわたる努力と献身的な医療活動による賜物と思っています。また圏域のメディカルコントロールを支えてくださっている二次医療機関や医師会の先生方、さらに地域行政や消防機関の方々の協力も下支えになっており、感謝申し上げます。

当院は南予の中核病院として、南予救命救急センターを併設し、多くのスタッフがー丸となり、患者様の命を守るために、圏域の医療の最後の砦として救急医療を担ってまいりました。特に夜間における対応圏域

は年々広域になり、重症救急や緊急手術症例は、南予圏域のみならず高知県の西南地域からも集中して搬送されるようになってきています。なにより新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、この圏域でも医療現場の大きな混乱や逼迫を来し、多くの負担や変化を強いられましたが、このような困難な状況下でも感染症対策の徹底と医療体制の維持、強化に取り組み、地域の患者様の安全を最優先に乗り越えてきました。

最近では自然災害も多種多様化しています。現在このような災害時でも、安定的な電源を確保し、より充実した医療を提供できるよう、エネルギーセンター棟を建設中です。

今回の受賞を励みに、私たちは今後も地域の皆様に信頼される医療機関であり続けるために、また地域の救急医療のさらなる充実のために、努力を続けていく所存です。

最後にこの受賞を支えていただいた関係者の皆様、スタッフの皆様から感謝申し上げます。

薬学生実習レポート



神戸薬科大学 山下 貴大さん

調剤薬局での実務実習を終え、病院での実務実習に入りましたが、当初は業務を早く行うことに気を取られ、患者様の病態を考える余裕がありませんでした。しかし、電子カルテから“どのような情報を得て患者様に向き合うか”を教わり、服薬指導を通じて患者様と接するうちに病態を考えられる力が付いてきました。

また国家試験に出やすい症例があれば積極的に教えていただき、処方解析や服薬指導を行うことによって国家試験を見据えた勉強ができました。抗がん薬の調製、ピッキング、処方鑑査など多岐に渡る業務を経験させていただき、今まで大学で学び得た知識に加え、“実際の臨床でしか学べないこと”を学ぶことができました。これらの内容をしっかりと反映し更なるスキルアップに繋げていきたいと思っています。

将来は、積極的に学び続ける姿勢を大切にして患者様や医療従事者双方から信頼される薬剤師となれるように頑張ります。11週間の実習を受け入れてくださりありがとうございました。

薬剤師になるためには、薬学部に入り6年間勉強や研究をするとともに、調剤薬局と病院で11週間ずつ実習を受ける必要があります。当院では、年に2～4名程度松山大学をはじめ中四国や関西の大学からも薬学生を受け入れています。



令和5年度へき地医療貢献者表彰を受賞して

心臓血管外科主任科長 兼 MEセンター長 坂尾 寿彦



岡原市長(左)、坂尾医師(右)

この度は、令和5年度へき地医療貢献者表彰という栄誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。また、ご推薦をいただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

当院は2003年にへき地医療拠点病院に指定され、私は必然的にへき地医療に携わっていたことになります。大学で心臓外科を担当していた頃、市立宇和島病院に南予救命救急センターが併設され、心臓血管外科を開設するというので、突然私に声がかかりました。いろいろと悩みましたが、1994年に大学から当院へ赴任となりました。今から思うと、一人で心臓血管外科を開設するなど無謀としか言いようのないことです。下肢静脈瘤から大動脈・動脈疾患、心疾患まですべてを担当する必要がありました。6か月の研修後、赴任しました。

まずは、心臓血管外科担当病棟を決定し、開心術の管理等、看護師、臨床工学士などスタッフの研修、勉強会など毎週6か月間行いました。研修病院の指導医の助けを借りて、何とか開心術を開始することができました。術前、術中、術後管理はほとんど一人でやらないといけませんでした。ベッドサイドでのつききりの管理、仮眠、緊急呼び出しの日々でした。この状況は20年以上続きました。

また、血液製剤管理委員会を担当し、熱心な検査技師を中心に輸血マニュアル、血液製剤使用届出書などを作成しました。病院機能評価受審時には輸血部門は高い評価が得られました。禁煙対策委員会も担当、禁煙外来を開始しました。MEセンター長を兼任しています。心臓血管外科の開設時に人工心肺の操作のために1人採用し、現在も技師長として頑張ってもらっています。

今後、数年になると思いますが、当院で地域医療のために頑張るつもりです。よろしくお願いいたします。最後になりましたが30年間仕事を共にしたすべての皆様に感謝申し上げます。

シリーズ | 看護部だより

6 東病棟 深川 由美・池永 蘭



池永 蘭(左)、深川 由美(右)

職員一同、安全で安心できるお産はもちろん、妊産婦皆さんに寄り添い、満足していただけるよう努めています。

2人の助産師が救世主

【深川 由美】

私は前職で助産師職能委員をしていた際に、南予地域の助産師不足の現状を知りました。2021年に勤務していた施設が産科休止となり、助産業務を継続したく、2022年4月に東予から転職してきました。50代での転職は不安でしたが、皆さんが暖かく迎え入れてくれ、今は後輩指導やリーダーを任されています。今後も、出来る限り南予の母子の援助に携わっていきたいです。

【池永 蘭】

私は、南予の勤めていた産科が休止となり自身のスキルアップのために2022年6月に転職しました。皆さん、2階外来階段横に流れる電光掲示板の「可愛い写真」をご存じですか？私は、総合病院でありながら、妊婦さんの素敵な思い出となるマタニティペイントや出産後のベビーフォトというサービスが無料で行われていることに感動しました。今は私も可愛い赤ちゃんの写真を撮らせて頂いています。

満足たっぷり
減塩鍋レシピ

担々豆乳鍋

愛媛県は、心不全死亡率が女性は全国1位、男性は2位という状況です。心不全のリスクファクターの1つが高血圧です。宇和島市は愛媛県の他の市町より高血圧の方が多いと言われています。今回のレシピは、先に炒めてうま味をとり込んだ肉みそとラー油とさんしょうのアクセントにより、薄味ですが満足感のある鍋に仕上がっています。

チンゲン菜と大豆もやしのシャキシャキとした食感もお楽しみください。

〈参考文献〉愛媛県ホームページ

①愛媛のハートまもりたいけん <https://www.pref.ehime.jp/h25500/sankangaku-renkeipj/index.html>

②愛媛のえひめ(令和4年6月号) <https://www.pref.ehime.jp/h12200/kohoshi/310/index.html>

材料(1人分)

豚ひき肉	75g	a { 味噌・みりん・砂糖	…… 各大さじ1/2
木綿豆腐	1/2丁(150g)	おろし生姜・おろしにんにく	…… 各1/4かけ分
大豆もやし	1/2袋(100g)	調整豆乳	…… 1カップ(200ml)
チンゲン菜	1/2株(50g)	b { 酒	…… 大さじ1
ごま油	大さじ1/2	昆布	…… 2.5cm角(乾1.5g)
		ラー油・粉ざんしょう	…… 各適量

作り方

- ① 豆腐は一口大に切る。チンゲン菜は軸と葉に切り分け、軸は縦4等分に、葉は2cm幅に切る。
- ② 鍋に豚ひき肉とごま油を入れて中火にかけ、3分程炒める。aを加えて1分程炒め、取り出す。
- ③ 同じ鍋にbを入れ、豆腐、大豆もやし、チンゲン菜を入れて、②の肉みそをのせる。中火にかけ、ふたをして5分程煮たら、ラー油と粉ざんしょうをふって火を消す。

【1人分の栄養量】 エネルギー:503kcal たんぱく質:34.6g 食塩相当量:1.6g

宇和島市病院局で働きたい方の「奨学金」の貸与・返還支援制度

将来、宇和島市病院局の看護師、助産師、薬剤師として勤務を希望する方をサポートする制度です。
ご希望される方は下記までお問い合わせください。

① 看護学生等奨学資金
貸与制度

QRコードを読み込むと
HPが見られます▶

② 薬剤師奨学金返還
支援制度

QRコードを読み込むと
HPが見られます▶



【お問い合わせ先】 宇和島市病院局 経営企画課(市立宇和島病院 総務管理課内)
TEL:0895-25-1111 E-mail:uwajima-hp@city.uwajima.lg.jp